

快適な住空間をめざして

ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)は、
住宅設備および建材に関わる企業・団体に構成される法人です。

快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人リビングアメニティ協会

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA) は、優良住宅部品(BL 部品) の開発・普及推進のため1976年に創設されたBL推進協議会を、1990年10月に発展的に改組して誕生し、2012年4月より一般社団法人化いたしました。

当協会は、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という目的に沿って活動を続けており、機能的で良質な住宅部品の供給促進と快適な住空間作りのための調査研究及び情報交換を推進しています。

2016年3月にスタートした「新たな住生活基本法(全国計画)」では、少子高齢化・人口減少社会を正面から受け止めた新たな住宅政策の方向性が提示され、子育て世帯や高齢者が安心して暮らすことが出来る住生活、既存住宅の流通と空き家の利活用を促進、住宅ストック活用型市場への転換を加速することで、住生活産業の活性化を図っていくものとなっています。リフォーム需要への積極的な取り組みは勿論、地球環境の保全と節電を含めた省エネにも対応し、さらに住宅・住宅部品の性能向上が求められていることから、当協会としましては、断熱材、断熱窓等建築材料の技術開発、高効率給湯機の普及拡大、更にはヒートショック防止など住宅の温熱環境と健康に関する検討も進めてまいります。

また、これら住宅部品は長期にわたり良好な状態で使用されなければなりません。当協会では、10月10日を「住宅部品点検の日」に制定し「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会への移行を目指すことを目的に、住宅部品・設備を安全、安心に使用していただくとともに、点検、補修、適切な時期での取り替えを当たり前にする風土づくりに取り組んでまいります。

当協会は40余年にわたり「住宅部品の普及による豊かな住環境をつくる」という理念のもと、各事業を通して社会構造の変化に対応してまいりました。これまで以上に 会員企業・団体の皆様にとって 価値ある協会を目指してまいりますが、そのためにも国土交通省ならびに住宅生産団体連合会、ベターリビングをはじめとした関係諸団体のご指導、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

最後になりましたが、より多くの企業の積極的なご入会と活動への参画を期待しております。



一般社団法人
リビングアメニティ協会 会長

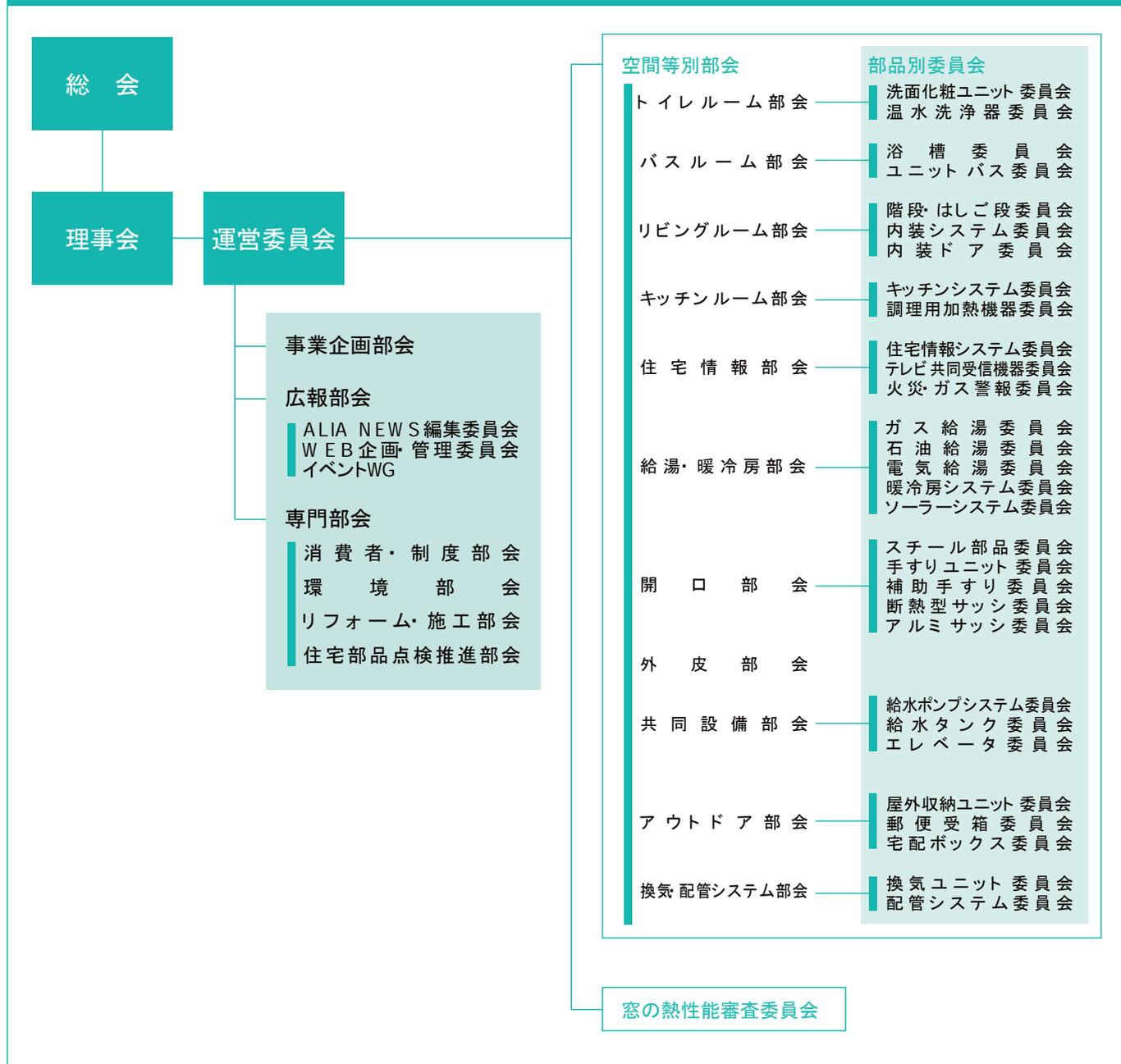
国井 総一郎

活動内容

- 優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究
- 住宅部品の機能、性能に関する調査研究
- 優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等
- 住宅部品の供給(流通を含む)や施工に関する調査研究
- 住宅部品の使用、利用に関する調査研究
- 住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発
- 政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

委員会活動内容の紹介

組 織 図



● 専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

● 空間等別部会

バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社のレベルアップをはかるのにとっても有効な活動を行っています。

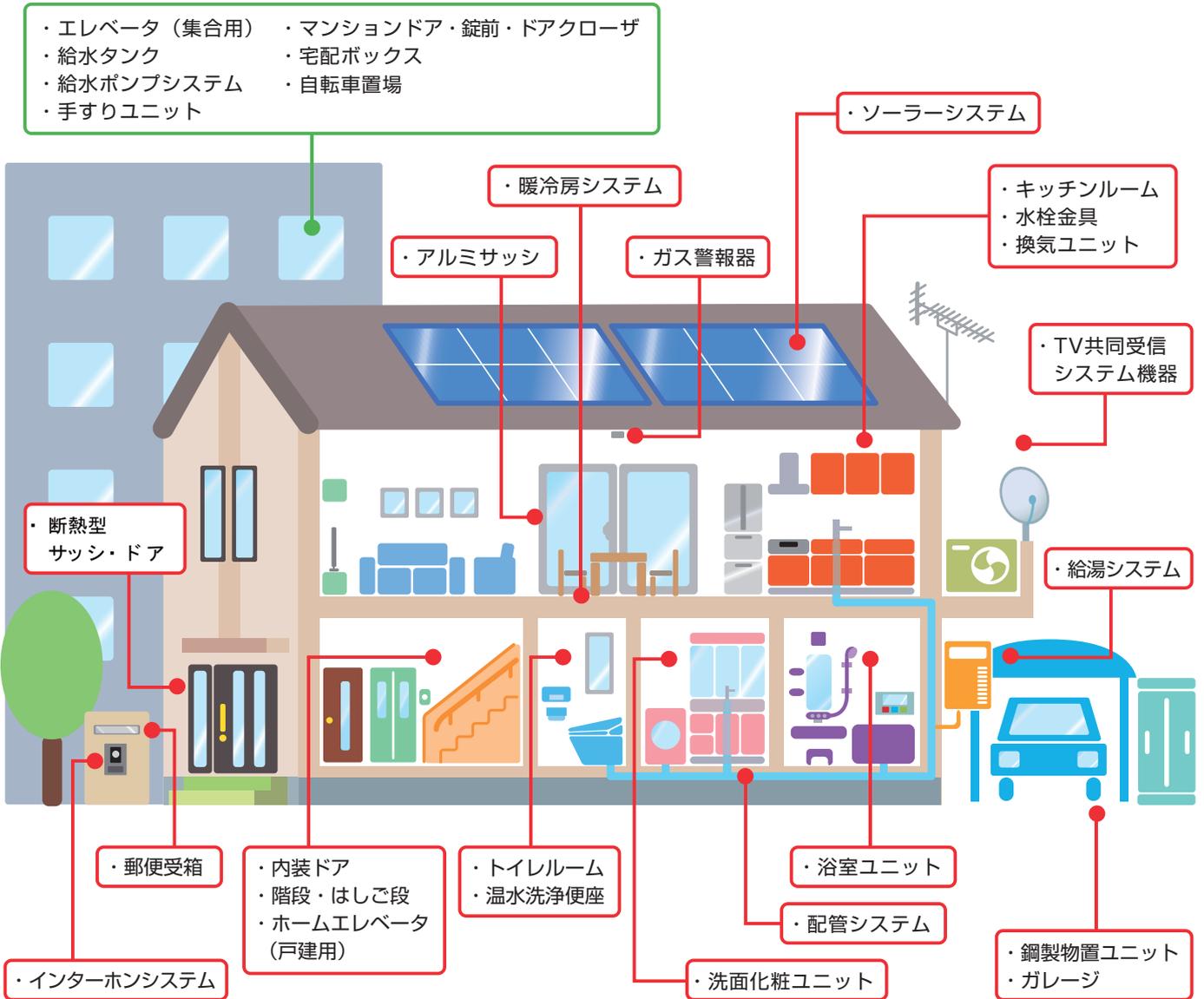
アメニティ Cafe

住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はホームページにて

アメニティ Cafe

検索



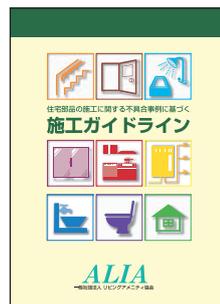
出版物等



●住宅部品統計
ハンドブック



●自分で点検！
ハンドブック



●施工ガイドライン

- 住宅部品の自主点検表
- 内装建材の警告表示に関するガイドライン
- 住宅部品VOC表示ガイドライン
- 換気設計事例集
- デジタル放送対応テレビ 共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」(10月10日)を制定しました。制定宣言については [こちら](#) をご覧ください。

(<http://www.alianet.org/residentialpart-check/>)

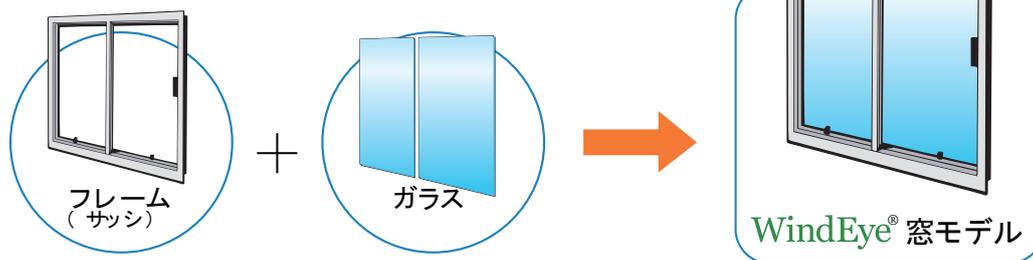


窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye®で窓全体(フレーム+ガラス)の熱貫流率(U値)を任意の窓サイズで計算可能

➡ 「窓の断熱性能表示制度」に対応できます

「窓の断熱性能表示制度」対応版



WindEye®の特長

- フレーム、ガラスを一体として評価しています
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです
- 新しい情報を皆様にご提供していきます
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます
- ALIAのホームページから無料でご利用できます

● 窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEye(「窓の断熱性能表示制度」対応版)を開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。次世代省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの表示性能の拡大、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。



一般社団法人リビングアメニティ協会

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目7番2号

ステージビルディング 6階

TEL.03-5211-0540 FAX.03-5211-0546

ホームページアドレス: <http://www.alianet.org>

●電車でのアクセス

JR飯田橋駅 東口西口 徒歩3分

東京メトロ南北線 有楽町線 東西線

都営大江戸線飯田橋駅 A4出口 徒歩2分